

## 地震に伴う動物異常行動の生体メカニズムについての考察

## A possible biological mechanism of unusual animal behavior before earthquakes

# 横井 佐代子 [1]; 浅原 裕 [2]; 山中 千博 [3]

# Sayoko Yokoi[1]; Hiroshi Asahara[2]; Chihiro Yamanaka[3]

[1] 近大 理工 生命; [2] (株)先端力学シミュレーション研究所; [3] 阪大・理・宇宙地球

[1] Kinki Univ.; [2] ASTOM R&D; [3] Earth and Space Sci., Osaka Univ.

1995年兵庫県南部地震の後集められた証言が示唆するように(弘海原『前兆証言 1519!』1997)地震前兆現象が電磁波によって引き起こされる可能性は十分考えられるが、動物が電磁波をどこで感知し、どのようなメカニズムで異常行動を引き起こしているのか説明するには生体電磁気学的にまだ不明な点が多い。しかし、最近中国地震局が蛇の行動から地震の予知を試みているように、地震と動物行動の相関性、さらにその生体学的メカニズムを解明することは防災に貢献する以外にも昔からアジアに存在する伝承を科学的に解明するという点で非常に興味深いテーマであるとの観点に立ち我々は研究を行ってきた。

今回の発表では、これまでの動物による実験結果に加え地震前のヒト疾患の証言から考えられる地震前兆現象としての動物異常行動と電磁パルスとの関係を考察する。

なお、著者らは1995年兵庫県南部地震の前に大阪大学蛋白質研究所で観測された概日リズムの異常が地震直前に地殻から生じた電磁パルスによるものと考え検証実験を行ってきたが、この詳細は別途発表する予定である。